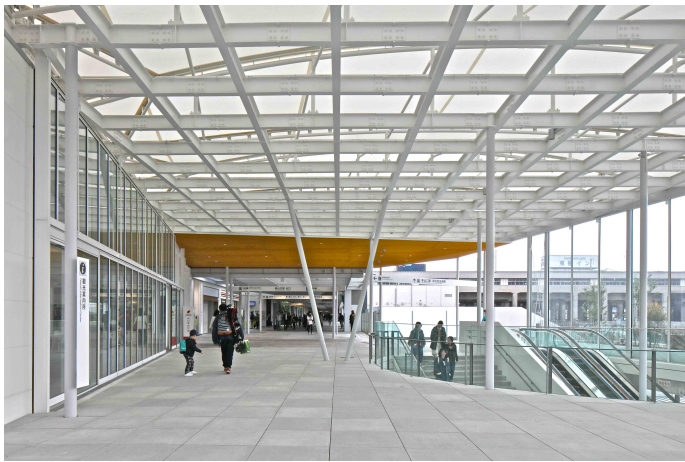


謹賀新年

新山口北口駅前広場「0番線」



2015年10月に供用開始した南北自由通路に続き、昨春、足掛け7年に渡る設計～施工期間を経て、北口駅前広場全工区が竣工しました。駅ビルのように一箇所に施設を集約するのではなく、低層施設に機能を分散させ、互いに「見る／見られる」の関係をつくることで利用者に広場全体の活用を促すと共に既存市街地への流れを生み出すことを試みた新しい駅前広場のかたちです。現在、隣接する西側敷地の拠点施設整備が2021年のオープンを目指して進行中で、デッキレベルで駅からつながるなど、「0番線」のコンセプトを継承した計画となっています。我々が描いた、駅からまちへの想いは、新たな段階へ進んでいます。

賞歴：都市の緑3表彰 平成30年度 壁面・特殊緑化部門 国土交通大臣賞、SDA賞2018 金賞



信濃美術館

「ランドスケープミュージアム」をテーマとした信濃美術館は、実施設計が完了し、今年はいよいよ工事が始まります。先行する東山魁夷館（谷口吉生氏設計）の改修工事や、長野市が発注する公園整備との連携など、多方面にわたる調整が必要となる工事ですが、2021年春の善光寺御開帳にあわせたオープンに向けて、チーム一丸となって進んでいきます。



SLシェルター

群馬県川場村にて、一昨年末まで運行していたSLを動態保存するためのガラスシェルターが完成しました。鉄道駅舎をイメージした鉄骨フレームでガラス屋根を架け、ホームに停車した車両を眺めているようにSLを見ることが出来ます。隣接するホテルのラウンジ部分もあわせて改修を行い、SLを眺めながら食事のできる贅沢な空間が誕生しました。



沼田市新庁舎等整備計画

沼田市庁舎（群馬県）の現場では、鉄骨軸組の補強や基礎補強などの耐震補強を終え、現在各種仕上げ工事が急ピッチで進んでいます。今年5月の連休明けには、暗く閉鎖的だった商業施設が、全く新しく生まれ変わってオープンします。（工事中）

新群馬建設会館

群馬県前橋市で建設業協会の施設が完成しました。建設業全体のイメージアップを図り、時代に流されないデザインを目指した建物は、ALCによる白いオフィス部分と、りん酸処理パネルで覆われた黒いホール部分との二つのボリュームが組み合わさった特徴的な外観となっています。既に新しい建物での活動が始まっていますが、引き続き、既存建物の解体と外構工事を行い、3月に全体が完成する予定です。